

第1日の成績(8位タイまで)

- ①古川悠一朗(Jクラ) 0 72(35、37)
- ②田村 泰章(阿南) +1 73(36、37)
- ③武田 紘汰(月の宮) +2 74(37、37)
- ③篠原 和樹(レオマ) 74(39、35)
- ⑤幾原 大輔(西徳島) +4 76(39、37)
- ⑤山田 直人(御所) 76(39、37)
- ⑦安喜 正満(吉野川) +5 77(36、41)
- ⑧濱刈 裕生(鳴門) +6 78(38、40)
- ⑧木村 剛志(グラン) 78(41、37)
- ⑧勢井 乃樹(月の宮) 78(38、40)

(JクラはJクラシック、西徳島は) タカガワ西、グランはグランディ

# 古川(Jクラ)単独首位

## ゴルフ

### 県アマチュア選手権

ゴルフの第45回徳島県アマチュア選手権は27日、徳島市の徳島カントリー倶楽部月の宮コース(6776ヤ、パー72)で県内外のトップアマ140人が参加して開幕した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年に続いて無観客で行われ、初日は生光学園高3年の古川悠一朗(Jクラシック)がイーブンパールの72で単独首位に立った。

感染防止対策としてカットラインを設けており、初日を終えて97位までの107人が28日の最終ラウンドに進んだ。最終日も無観客で実施し、アウト、インとも午前7時半に第1組がスタートする。

- △1位から27位までの成績
- ①柳田英記(御所)79(38、41)
  - ②近藤本一(月の宮)79(41、38)
  - ③古川悠一朗(Jクラ)72(35、37)
  - ④武田紘汰(月の宮)74(37、37)
  - ⑤幾原大輔(西徳島)76(39、37)
  - ⑥山田直人(御所)76(39、37)
  - ⑦安喜正満(吉野川)77(36、41)
  - ⑧濱刈裕生(鳴門)78(38、40)
  - ⑧木村剛志(グラン)78(41、37)
  - ⑧勢井乃樹(月の宮)78(38、40)
  - ⑩田中正記(月の宮)81(40、41)
  - ⑪大樽好行(タカガワ東)81(40、41)
  - ⑫池田晴美(タカガワ西)81(41、39)
  - ⑬加本秀明(月の宮)82(40、42)
  - ⑭阿部弘弘(四国)82(42、40)
  - ⑮藤本達也(四国)82(41、41)
  - ⑯吉井英介(阿南)82(43、39)
  - ⑰北條泰久(鳴門)83(43、40)
  - ⑱原真雄(タカガワ東)83(41、42)
  - ⑳吉本昭仁(月)
  - ㉑尾崎龍二(阿南)83(44)
  - ㉒大浦秀喜(ランテ)83(43、40)
  - ㉓菅谷健太(阿南)83(42、41)
  - ㉔田岡和史(レオマ)83(38、45)
  - ㉕山本真之(タカガワ西)83(42、41)
  - ㉖筒井伸也(ランテ)83(43、40)
  - ㉗栗林良(レオマ)83(44、39)

田村満面の笑み  
 ○：昨年16位の田村



初日、イーブンパールの72で首位に立った古川＝徳島カントリー倶楽部月の宮コース

## 我慢のプレーを貫く古川

念願の初優勝に向け、順当なスタートを切った。高校3年の古川(Jクラシック)はイーブンパールのスコアに納得していかないものの「今日一日は我慢のゴルフに徹した」とひとまず安堵(あんど)した様子だった。

後半は苦しみながらもスコアをまとめた。10番は中学時代からティショットをよくOBにした鬼門のホールだが、低いフェードボールを駆使してパー。12番のショットではティショットでグリーンを外したものの、

2時半のバットを沈めてピンチを切り抜けた。最大の武器は平均飛距離300ヤを超えるドライバー。3月の全国高校選手権春季大会で18位に入るなど、実績は申し分ない。この日も一球の弾道を低く抑えることで飛

距離が上がった」と、四つあるロングホールを全てパーでしのいだ。硬くて球速の速いベントグリーンの攻略が勝敗の鍵を握ると考えている。単独首位で最終ラウンドに臨むのは中学2年生だった2017年以来だが「コースレコードで回って優勝する」。結果で成長の跡を示す。(須見千次郎)